



# 太陽と大のなかよし戸沢の子

## 「学び」を発信し、成長を自覚化させる

校長 村田 紳

後期が始まって一カ月がたちます。11月2日には学習発表会が行われました。各学年、これまで学んだこと、練習してきたことを精一杯発表しました。学習発表会で発表するために練習等に取り組むということも大切ですが、**最も大切にしたいことは、「学んだことを発信する」ということです。**それぞれの学年発表は裏面をご覧ください。また、第7号でもお伝えしたとおり、戸沢小学校では、「学びをつなぐ」ということも大切にしています。今回は、5年生を取り上げてみます。5年生の総合学習では「米作り」に取り組みました。これまでは、5、6年合同で取り組んできましたが、今年度は5年生単独で取り組みました。社会科で農業を取り扱うのが5年生ということ、そして米作りに徹底的にこだわり、「学び」を自分事にするというねらいです。「田植え」はもちろん「あぜきり」なども地域の方から指導いただき、「稲刈り」「精米」などこれまでになかった作業を通して、こだわりの詰まったお米を収穫することができました。さらに今年は鼈葉プラザで行われた「ふるさとフェア」に参加して、一般の方に販売することにしました。販売に至るまで、5年生はお店で価格を調べ、価格の妥当性を決定し、袋詰めやパッケージを考え、販売の際の紹介（売り込み方）を考えました。販売日当日は、あいにくの雨。2kg 詰めのお米 120 袋を約1時間 30 分で売り切らなくてはなりません。昨年度まで校内で販売していたのと同じ、一般のお客さんに売るには、「声を出して」「正確に品物を渡す」必要があります。雨足が強くなり、お客さんが少なくなっても、声を出して頑張る5年生。最後には、売り場から離れ、自分たちからお米を持って売りに行く姿も見られました。結果、見事に完売。子ども達はすばぬれになりながら満足そうな笑顔を浮かべていました。まさに「達成感」を体感した瞬間でした。5年生の「学び」は続きます。11月13日には、北海道厚岸市の真龍小学校6年生と遠隔授業を行い、「こだわりの米作り」について発表を行いました。北海道の真龍小地域では、米作りを行っていないということで、たくさんの質問が飛び交い、丁寧に応対できる5年生をさらにたくましく感じました。

「学びを発信する」ということは、社会とつながること、「生きて働く力」を育成するということです。

保護者の皆様、地域の皆様のご協力なしにこの教育活動は展開できませんでした。いつも戸沢小の子ども達を温かく見守ってくださり、本当にありがとうございます。



# 学習発表会 2024

## ～学びを発信できる子どもたち～



進行、がんばりましたね。



1年生の発表



2年生の発表



3, 4年生の発表



5年生の発表



6年生の発表

### あまり知らない先生方の放課後

「先生方は子どもが帰った後に何をしているの？」  
戸沢小の先生方は、「授業づくり」に取り組むことが多いです。みんなで相談しながら、「分かる授業」になるよう勉強しています。



学年をこえて、「授業づくり」について真剣に語り合います。時には外部講師に授業を見ていただき、指導助言をいただきます。先生方も「学び続ける」教師集団です。